

未来の文化の担い手を目指す

高校文化部 を紹介します③

文化は一朝一夕には成り立ちません。未来の文化の担い手を目指して、頑張っている中越・長岡地域の高校文化部をシリーズで紹介しています。今回は、「中越高校写真部」です。

中越高校写真部

写真部は一九六六年の卒業アルバムに載っているのが誕生はその頃と考えられる。当時の部員はほとんどが男子だったが、今は圧倒的に女子が多い。三年生が卒業した今は九名の部員が毎日楽しく活動している。

年二回の撮影合宿を行っている。これまでに、岐阜県の白川郷(世界文化遺産)や長野県の妻籠(江戸時代の建物が現存し、重要な伝統的建造物群保存地区)、春の能登半島などをフィルムに収めた。撮影を通して広く知識を吸収し、写真に生かしている。

市民センターでモノクロ写真の作品展を六回開催し、多くの方々に見ていただいている。モノクロ写真を中心に、最近デジタル写真にも挑戦している。

フォトコンテストには全員で応募し、それぞれ上位を目指し努力している。



中越高校写真部のメンバー



作品展



撮影風景

ながおか文人会議は若者たちの文化活動を応援します。